

〔俳句ハイク〕

a 必要な物

- ・段ボール板（約6cm×約30cm）1人2～3枚
- ・筆ペン（1人1本分）（使用後に消毒）又はサインペン

b やり方

フィールドとしてキャンプサイト、せせらぎの森、大きな池周りが考えられる。

または、OLコースを使ってもよい。

キャンプサイトを例にとると、キャンプサイトに全員がついたら集合して、やり方を説明します。

- ・危険なものや危険な植物（ウルシなど）等説明。（実物があったら実物で説明）
- ・段ボール1枚と筆ペン1本ずつ配ります。

この場所で、俳句をつくってもらいたいと思います。

5・7・5ですが、字余り大いによいです。難しく考えずに感じたまま、思ったままを俳句にしてもらえたら。

季語は特になくていいです。

それぞれ1人になって、この付近の好きな所で座っても寝て書いてもよいです。

4. 活動範囲（どこからどこまでか目印になるもので説明する）について説明。

なるべく楽な格好でつくってください。

つくったら最後のところにニックネーム、あだ名等を必ず書いてください。

時間は5～7分ぐらいです。

時間になったら笛を吹きますので、またここに集まってください。

- ・それぞれ分かれて俳句作り
- ・笛の合図で集合
- ・つくった俳句を発表してもらおう。

発表したい人がいたらその人から発表してもらおう。いなかったら指導者が誰かをさして発表してもらおう。

1人発表したら、指導者は必ず良いコメントをちょっとして皆で拍手をする。

そして次の人の発表へ移る。人数がそれほど多くなければ全員に発表してもらおう。

多すぎて時間がかかるようだったら、発表できなかった残りの人は次の場所で発表してもらおう。

次の場所へ移る。（例えばせせらぎの森）

・指導者の説明「先ほどのキャンプサイトと少し違い広げた場所です。ここで再び俳句をつくってもらいたいと思います。」

新しい段ボール板を渡す。

やり方は先ほどと同様です。

それぞれ好きな所で、好きな格好でくつろぎ、俳句をつくってください。

最初の場所と同様、時間になったら笛を吹き集合して発表。

- ・時間があったら3つ目の場所でおこなう。(大きな池周辺の開かれた所等)
- ・最後にふりかえり。場所によって自然の感じ方も違う。俳句をつくることによって、さらに自然をそれぞれより深く感じる事ができたのでは。
- ・段ボール板でなく画用紙などを切ってもできるが、きれいなものだとよいものを書かなくてとはあらたまってしまうので、思いつくままこだわらずにかける段ボール板の方がよい。
- ・到着した日にスケッチ、写生などして、最終日に俳句ハイクをして最後にスケッチしたものに作った俳句を書き入れると俳画になる。(スケッチしたものと俳句とは関係ないものの方がおもしろい形式にとらわれない俳画となる。)

また、最終日にスケッチ、俳句両方作成することも出来る。

- ・つくった俳句を回収して、学校にもどったときに俳句集などつくと、ふりかえり学習になって、思い出のものになる。

〔目だまっち〕

（目玉の紙〈画用紙を直径 6 cm の円で切る。裏側に両面テープを貼る。〉 1 人 2 枚、サインペン 1 人 1 つ、学校で持参している画板又はバインダーを 1 人 1 枚、吹き出し用紙 1 人 1 枚）

1. 事前に目玉を 4 つ作成し、例として子どもたちが見えないところに 2 本の木（2 か所近い所の木）に目玉の紙を木に貼り、吹き出し用紙に例になる言葉を書いておく。

2 子どもたちを貼った木の付近につれていく。

3. 「林の中の友達を紹介します。」と言って、事前に貼った木の 1 つを紹介。その木のしゃべりたいことを吹き出しで紹介する。もう 1 つの木も同様に紹介する。

4. 「みんなも林の中で友達をつくろう。」

サインペン、目玉の用紙、吹き出し用紙を配る。

5. 自分の友達として気に入った木を探す。（探す範囲を決めておく）

6. その木に合った目をサインペンで目玉用の紙に書き、好きな位置に貼る。

7. 吹き出し用紙にその木がしゃべりたいと思っていることを書いてもらう。

8. 出来たら集合する。8 人以上だったら 2 組に分けて 1 組に先生、指導員についてもらう。

8. 集合した所に 1 番近い人から自分の友達の木のところへ同じ組みんなで行き、木を紹介してどんなことを思っているか吹き出しの言葉を発表してもらう。

9. 発表したら、職員・先生がちょっとコメントを加えて、みんなで拍手。

10. その次に近いところの人の木のところへ行き同様に。組全員それぞれ行き発表する。

11. 終わったら 2 組とも集合する。

12. 木が今まで以上に身近に感じたのではと伝え、「この友達ははずかしがりやなので、あまり大勢に見られたくないので、貼った目玉ははずしておみやげに持ち帰ってください。」と伝えて、それぞれ目玉の用紙を木からはがしてもらう。

13. 吹き出しも持ち帰ってもらう。